

日・米物品役務相互提供協定(日米ACSA)



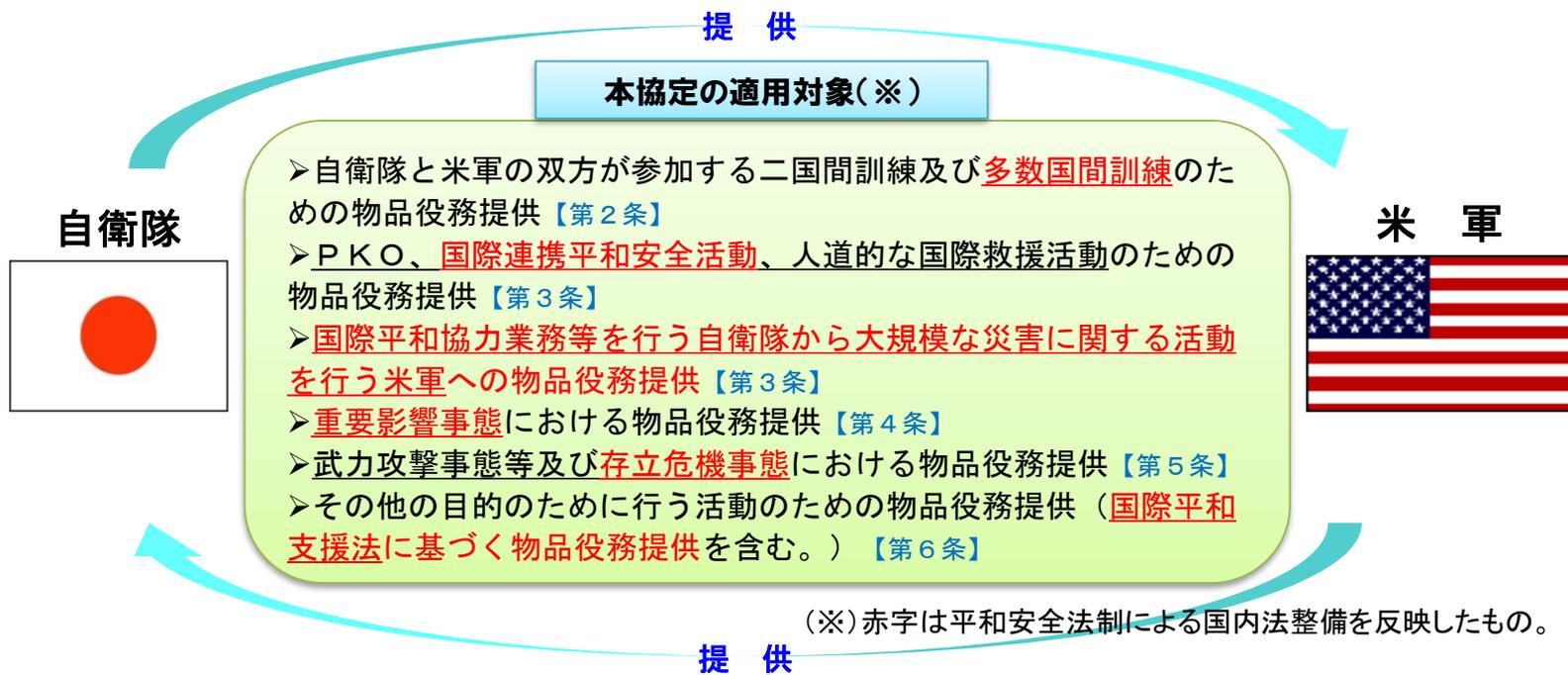
◆日・米物品役務相互提供協定(日米ACSA)は、**自衛隊と米軍が物品・役務を相互に提供する際に適用される決済手続等の枠組みを定める**協定(旧協定は平成8年締結。平成11年(周辺事態法)、16年(米軍行動関連措置法)に改正。)

(注)物品・役務の提供の法的根拠は、自衛隊法を始めとする現行の国内法。

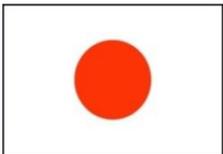
◆平成27年9月19日に成立した**平和安全法制**により、**自衛隊から米軍に対して実施し得る物品・役務提供の内容が拡大された**ところ、旧協定の決済手続等と同様の枠組みを適用できるようにするため、**平和安全法制の内容を反映した新協定(下記)を作成した**もの。

◆平成28年9月26日、岸田文雄外務大臣とキャロライン・ケネディ米大使との間で署名。

◆平成29年4月25日、発効。



自衛隊



米軍



提供される物品・役務の区分

食料	水	宿泊	輸送	燃料・油脂・潤滑油	被服	通信業務	衛生業務	基地活動支援	保管業務	施設の利用
訓練業務	部品・構成品			修理・整備業務	空港・港湾業務	弾薬	【第1条及び付表1】	※なお、武器については提供対象ではない		

→ 提供される物品について、平和安全法制の内容を踏まえ、武力攻撃事態等以外についても、弾薬の提供を本協定の適用対象とする。